

原子力施設等におけるトピックス
(令和2年2月3日～2月9日)

令和2年2月12日
原子力規制庁

○令和2年2月3日～2月9日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

○主要な原子力事業者(＊)の原子力事業所内で令和2年2月3日～2月9日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に係る事案で、事業者がプレス公表したもの

＊……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃(株)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス
該当なし

<その他>

2月6日及び7日発表 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋における作業員の放射性物質の内部取込について

福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2020年2月6日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

【主な作業実績と至近の作業予定等】

・2月6日、2号機原子炉建屋大物搬入口2階片付作業に従事していた協力企業作業員について、放射性物質の内部取込の可能性があると判断した。

状況は以下のとおり。

- ・判断時刻 午後3時12分
- ・発生場所 2号機原子炉建屋
- ・作業内容 原子炉建屋大物搬入口2階片付作業
- ・汚染状況 鼻腔スミヤで汚染検出（約900cpm）
- ・汚染箇所 顔面（口まわり）

現在、除染を実施中。

・3号機において燃料デブリの冷却状況の実態を把握するため、原子炉注水量を一時的に停止する試験（3号機燃料デブリ冷却状況の確認試験）を実施する。

この試験に関連し、1月29日から2月17日の期間、以下のとおり1～3号機の原子炉注水量の変更を行う。

なお、1号機および2号機の原子炉注水量の変更は、1～3号機原子炉注水設備全体のバランス調整に伴うもの。

【原子炉注水量変更実績】

（1月29日午前10時53分）

1号機 給水系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h
 2号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h

（1月30日午後0時19分）

1号機 給水系原子炉注水量 : 1.8 m³/h → 2.5 m³/h
 2号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 2.5 m³/h

（1月31日午後6時10分）

1号機 給水系原子炉注水量 : 2.4 m³/h → 3.0 m³/h
 2号機 給水系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h
 3号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 3.0 m³/h
 3号機 給水系原子炉注水量 : 1.5 m³/h → 0 m³/h

（2月3日午前10時31分）原子炉注水停止

3号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 2.9 m³/h → 0 m³/h

（2月5日午前10時42分）原子炉注水再開

3号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 0 m³/h → 1.4 m³/h

（2月6日午後2時43分）

3号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h

【原子炉注水量変更予定】

（2月7日）

3号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 2.5 m³/h

（2月10日）

1号機 給水系原子炉注水量 : 3.0 m³/h → 1.5 m³/h

2号機 炉心スプレー系原子炉注水量 : 2.5 m³/h → 1.5 m³/h

福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2020年2月7日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

【主な作業実績と至近の作業予定等】

- ・2月6日、2号機原子炉建屋大物搬入口2階片付作業に従事していた協力企業作業員について、放射性物質の内部取込の可能性があると判断した。状況は以下のとおり。

- ・判断時刻 午後3時12分
- ・発生場所 2号機原子炉建屋
- ・作業内容 原子炉建屋大物搬入口2階片付作業
- ・汚染状況 鼻腔スミヤで汚染検出（約900cpm）
- ・汚染箇所 顔面（口まわり）

当該作業員の汚染した顔面（口まわり）について除染が完了し、ホールボディカウンタ測定を実施。評価の結果、内部取込と判断、内部被ばく線量は1.18mSvで記録レベル（2mSv）未満であった。

その後、入退域管理棟救急医療室の医師による問診の結果、内部取込の疑いはあるが異常なしと診断された。

- ・3号機において燃料デブリの冷却状況の実態を把握するため、原子炉注水量を一時的に停止する試験（3号機燃料デブリ冷却状況の確認試験）を実施する。この試験に関連し、1月29日から2月17日の期間、以下のとおり1～3号機の原子炉注水量の変更を行う。

なお、1号機および2号機の原子炉注水量の変更は、1～3号機原子炉注水設備全体のバランス調整に伴うもの。

【原子炉注水量変更実績】

（1月29日午前10時53分）

1号機 給水系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h

2号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h

（1月30日午後0時19分）

1号機 給水系原子炉注水量 : 1.8 m³/h → 2.5 m³/h

2号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 2.5 m³/h

（1月31日午後6時10分）

1号機 給水系原子炉注水量 : 2.4 m³/h → 3.0 m³/h

2号機 給水系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h

3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 3.0 m³/h

3号機 給水系原子炉注水量 : 1.5 m³/h → 0 m³/h

（2月3日午前10時31分）原子炉注水停止

3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2.9 m³/h → 0 m³/h

（2月5日午前10時42分）原子炉注水再開

3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 0 m³/h → 1.4 m³/h

（2月6日午後2時43分）

3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.4 m³/h → 2.0 m³/h

【原子炉注水量変更予定】

（2月7日）

3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 2.0 m³/h → 2.5 m³/h

（2月10日）

1号機 給水系原子炉注水量 : 3.0 m³/h → 1.5 m³/h